

2025年度  
第7回 理事会議事録

2026年 1月 16日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

# 2025年度 第7回理事会議事録

1. 日 時 2026年1月16日（金） 11:50～13:30
2. 場 所 鉄鋼会館 802号室
3. 構 成 員 14名
4. 出席構成員 14名（別紙 出席者名簿参照）
5. 議 事 次 第
  - (1) 開会の辞
  - (2) 定足数確認報告（定款第36条）
  - (3) 会長挨拶
  - (4) 前回理事会議事録の確認
  - (5) 審議事項  
第1号議案 就業規則の件
  - (6) 報告事項
    - 1) 2026年賀詞交歓会実施について
    - 2) 委員会等活動状況報告
      - ① 運営委員会
      - ② 技術委員会
      - ③ 外部団体との意見交換会対応WG
    - 3) 管理者の届出について
    - 4) 青年部（全青会）との連携活動について
    - 5) その他
      - ① 青年部との意見交換会について
      - ② 「鉄骨技術に関わる改善・開発・人材育成のための助成制度」成果報告会  
開催と工作基準マニュアル改定案について
      - ③ 日銀調査への協力対応について
      - ④ その他
  - (7) その他の定例報告事項
    - 1) 構成員登録状況
    - 2) 着工面積と推計鉄骨需要量
    - 3) 2025年度主要会議日程
    - 4) 支部報告
  - (8) 閉会の辞

## 6. 議事要旨

### (1) 開会の辞

進行役の山田専務理事より開会する旨が告げられた。

### (2) 定足数確認報告

山田専務理事より、本理事会は 14 名すべての理事が出席されており、定款第 36 条（理事会の定足数）に基づく成立要件となる定足数が満たされていること、また、監事も 2 名全員に出席いただいていることが報告された。

### (3) 会長挨拶

永井会長より「本日はこの後、全国理事長会、賀詞交歓会と長時間にわたりご対応いただきますが、よろしく願いいたします。」との挨拶があった。

### (4) 前回理事会議事録の確認

山田専務理事が、2025 年度第 6 回理事会の要点を読み上げ、確認了承された。

### (5) 審議事項

#### 第 1 号議案：就業規則の件

「就業規則」について、議案書[理 25-7-議 1]<別冊資料>にそって、下記内容が説明され、確認された。

- ・ 高齢者雇用に関する法令対応として、65 歳までの雇用確保を図るため、定年後の再雇用制度（1 年更新）を明確化する。
- ・ 年次有給休暇の取扱いとして、正職員から嘱託への移行時も通算の考え方を明確化し、付与の 不利益が生じないように整理する。
- ・ 従来の就業規則で使用していた「定年延長」の表現を見直し、「定年後の再雇用」に統一する。

「就業規則に見直し」について、原案通り承認された。

本就業規則については、社労士と協議の上、4 月 1 日施行に向けて手続きを進めることとした。

### (6) 報告事項

#### 1) 2026 年賀詞交歓会実施について

2026 年賀詞交歓会について、議案書（p4-5）に沿って説明され確認された。

- ・ 本日の理事長会、賀詞交歓会の時程及び進行について説明があり、来賓挨拶等の段取りについて共有された。

#### 2) 委員会等活動状況報告

##### ① 運営委員会

運営委員について、議案書（p6-13）に沿って、妹尾委員長より、以下の内容が説明され確認された。

- ・人づくり研修は各支部で実施され概ね好評であり、開催方法については、これから議論を進めるが、2026年度も継続する方向で検討したい。
- ・見積条件・特記事項の活用率向上に向け、引き続き課題整理を行う。条件書の内容については、法改正動向を踏まえ、外部相談も交え検討を開始した。
- ・生命共済・損害保険に関する勉強会を実施し、録画・資料は必要に応じて各県組合と共有可能な体制を整える。
- ・「スマイル職場（認定制度）」については、チェックシート案の作成と浸透を進めていく。まずは、自社の職場環境の点検用として活用していただいた上で、将来的な制度化も視野に検討を進めたい。

## ② 技術委員会

技術委員会について、議案書（p14-16）に沿って、岩永委員長より内容が説明され、確認された。

- ・生産性向上検討の一環として、CAD メーカー2社からの商品説明と質疑応答を実施した。書面でヒアリングしたメーカーの結果、3月6日にヒアリングを予定しているドッドウェルの内容も踏まえ、総まとめを行う方針。
- ・工作基準マニュアルの改定について方向性が確認された。

## ③ 外部団体との意見交換会対応 WG

外部団体との意見交換会対応 WGについて、議案書（p17-18）に沿って、登尾リーダーより説明された。

- ・今後の取組みとして、意見交換会開催に関する具体的な進め方や各地区の活動事例などを整理する。
- ・全構協、鉄建協で行っている要望活動の情報共有として、全構協のホームページへ掲載する予定。

## 3) 管理者の届出について

管理者の届出について資料（p19-28）に沿って説明され確認された。

- ・全国理事長会でも、周知資料を配付し注意喚起を行うこととした。

## 4) 青年部（全青会）との連携活動について

- ・青年部の活動を協会内の「委員会相当組織」として位置づけ、自主性を尊重しつつ協会統括のもとで、運営する基本方針を確認した。
- ・運営、人事、予算の取扱いは協会と協議・調整のうえ進めることとし、4月の青年部総会、6月の協会総会に向けて組織及びルール整備を進める。

## 5) その他

### ① 青年部との意見交換会について

2月18日に開催される青年部会との意見交換会について報告があった。

### ② 「鉄骨技術に関わる改善・開発・人材育成のための助成制度」

成果報告会開催と工作基準マニュアル改定案について

鉄骨技術に関する助成制度成果報告会及び工事基準マニュアル改定案について報告があった。

### ③ 日銀調査への協力対応について

日銀調査対応について、各支部から2社の推薦を受け、計20社を日銀へ名簿提出済みであることが報告された。

### ④ その他

次期会長選任について、前回理事会で三役会へ一任する案が承認されたことを踏まえ、三役会で慎重に検討した結果、現会長の続投（再任）を前提に総会に推薦することが報告、確認された。また合わせて、副会長、監事の人選について、永井会長に一任することが確認された。

## (7) その他の定例報告事項

### 1) 構成員登録状況

構成員数は、前回報告時(11月理事会)に対して、登録3社、減少11社、差引8社減の2,122社であること等が、議案書(p42-46)により報告された。

### 2) 着工面積と推計鉄骨需要量

2025年度11月の鉄骨推定所要量は、前年比76.7%の22.5万トンとなった。非常に厳しい数字であり、今後について注意して見ていく必要がある。

### 3) 2025年度主要会議日程

主要会議日程が、議案書(p48)により確認された。

### 4) 支部報告

#### [北海道]

- ・大きな変化はないが、稼働率はやや改善している状況。
- ・炭酸ガス不足の懸念がある

#### [東北]

- ・大きな変化はないが、仕事は少なく苦勞している。秋までは我慢。

〔関東〕

- ・まだまだ先は見えないが、協力して価格維持に努めたい。何とか乗り切っていきたい。

〔北陸〕

- ・厳しい環境が継続している。2027年からの計画に期待している。何とか、協力しながら頑張っていく。

〔中部〕

- ・全体的に仕事が少なく厳しい。駅前の開発案件の延期もあり、影響を懸念している。他地域からの攻勢も気になり。

〔近畿〕

- ・2025年は非常に厳しかった。2026年の夏以降の仕事に期待している。

〔中国〕

- ・山陰、山陽で二極化、地域毎の違いも出ているが、何とか頑張っている。

〔四国〕

- ・瀬戸内の造船関係の投資案件の情報があり、今後に期待している。足元は、厳しい状況であり、何とか単価を守ってやっていきたい。

〔九州〕

- ・厳しい環境の中で意外と埋まっているとの情報もあるが、価格が心配。
- ・先々の仕事への期待はあるも、中小は非常に厳しい。

(8) 閉会の辞

以上をもって、審議事項、報告事項等、予定された事項が終了したので、議長は閉会を宣し散会した。

以 上

(別 紙)

## 出席者名簿

会 長	永 井	毅
副 会 長	大 竹	良 明
〃	板 垣	昌 之
専務理事	山 田	安 彦
理 事	竹 原	慎 雅
〃	三 浦	隆 宏
〃	安 達	次 雄
〃	前 田	正 美
〃	稲 垣	法 信
〃	佐 野	勝 也
〃	妹 尾	一 人
〃	登 尾	昌 弘
〃	岩 永	洋 尚
理 事(相談役)	米 森	昭 夫
監 事	村 上	眞 樹
〃	吉 岡	晋 吾

理事総数	14名	うち出席者	14名
監事総数	2名	うち出席者	2名